

安全データシート

作成 2019年 11月 12日
改訂

1. 物質または混合物および会社情報

製品名 : SEC-500
会社名 : 富士技研工業株式会社
住 所 : 埼玉県戸田市本町4-2-16
担当部門 : 品質管理部
電話番号 : 048-434-6401 F A X 番号 048-434-6404
緊急連絡先 : 同上

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

急性毒性（経口） : 区分4
皮膚腐食性／刺激性 : 区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分2A
皮膚感作性 : 区分1
特定標的臓器毒性（単回暴露） : 区分3（気道刺激性）
特定標的臓器毒性（反復暴露） : 区分1（神経系）
水生環境有害性（急性） : 区分3
記載がない危険有害性は分類対象外、区分外または分類できない

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 :

- ・ 飲み込むと有害
- ・ 皮膚刺激
- ・ 強い眼刺激
- ・ アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- ・ 呼吸器への刺激のおそれ、または、眠気またはめまいのおそれ
- ・ 長期にわたる、または反復ばく露による臓器（神経系）の障害

- ・ 水生生物に有害

注意書き :

【安全対策】

- ・ 取扱い後はよく手を洗うこと。
- ・ 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- ・ 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
- ・ 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- ・ 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること
- ・ この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- ・ 環境への放出を避けること。

【応急措置】

- ・ 飲み込んだ場合：気分が悪い時は医師に連絡すること。口をすすぐこと。
- ・ 皮膚に付いた場合：多量の水で洗うこと。皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診察／手当を受けること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
- ・ 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合には外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合、医師の診察／手当を受けること。
- ・ 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- ・ 気分が悪い時は、医師の診察／手当を受けること。

【保管】

- ・ 換気の良いところで保管すること。
- ・ 容器を密閉しておくこと。
- ・ 施錠して保管すること。

【廃棄】

- ・ 内容物及び容器は、関係法令に基づき適正に処理する。

3. 組成および成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名	リン酸塩	硫酸塩混合物	グルコン酸ナトリウム
成分及び含有量 (%)	65 ~ 85	10 ~ 30	5.0 ~ 10
化学式	---	---	C ₆ H ₁₁ NaO ₇
官報公示整理番号	登録あり	登録あり	(2) -1410
CAS No.	登録あり	登録あり	527-07-1
国連分類	非該当	非該当	非該当
国連番号	非該当	非該当	非該当

4. 応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気の場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。体を毛布等で多い、保温して安静を保ち、直ちに医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣類を脱がせ、大量の水と石鹼で皮膚を洗浄する。症状が出た場合は、必要に応じて医師の診断を受ける。

眼に入った場合 : 多量の水で 15 分間以上洗い流した後、医師の手当てを受ける。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合には外すこと。直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合 : 水で口をすすぎ、コップ 1~2 杯の水または牛乳を飲ませる。直ちに医師の処置を受ける。被災者に意識が無い場合は、口から何も与えてはならない。

応急措置をする者の保護

: 保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。

予想される急性症状及び遅発性症状

: 眼・皮膚の刺激、発赤、痛み、灼熱感、咳、吐き気、嘔吐、下痢。

医師に対する特別な注意事項

: 症状に合わせて処置すること。

5. 火災時の措置

消火剤 : 粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素。

使ってはならない消火剤 : 棒状注水

特有の危険有害性 : 火災により、刺激性、腐食性または有毒ガスを発生する恐れがある。

特有の消火方法 : 危険でなければ火災区域から容器を移動する。

移動不可能な場合、容器および周囲に散水して冷却する。

消火後も大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。

消火作業は、可能な限り風上から行う。

消火を行う者の保護：消火作業では、適切な保護具（保護手袋、保護眼鏡、防毒マスク等）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置

：作業時には保護眼鏡、保護手袋等の保護具を必ず着用する。風下の人を退避させ、作業は風上から行う。漏出した場所周辺にロープを張り、関係者以外の立ち入りを禁止する。密閉された場所に立ち入る前に換気する。

環境に対する注意事項：公共用水域に流さないよう注意する。

回収、中和、並びに封じ込め及び浄化の方法・機材

：漏洩物を掻き集め、密閉できる空容器に回収する。

回収した漏洩物は廃棄上の注意に従って廃棄する。

二次災害の防止策：排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い：

技術的対策

- ・ 接触、吸入を防ぐため適切な保護具（保護衣、保護眼鏡、防塵マスク、保護手袋等）を着用する。
- ・ 取扱い場所の近くに、緊急時の洗眼および身体洗浄を行うための設備を設置すること。

注意事項

- ・ 作業場は換気を十分に行う。

安全取扱い注意事項

- ・ この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- ・ 眼、皮膚との接触を避けること。

保管：

適切な保管条件

- ・ 密封して換気の良い冷暗所に保管。直射日光を避ける。保管場所に施錠すること。

安全な容器包装材料

- ・ 包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。
-

8. ばく露防止および保護措置

管理濃度： 設定されていない

許容濃度：

ACGIH : 5mg/m³ (TLV-TWA) (リン酸塩)

日本産業衛生学会 : 設定されていない

設備対策：局所排気装置、手洗い、洗眼器、安全シャワー

保護具：保護衣、保護眼鏡、防塵マスク、保護手袋等

9. 物理的および化学的性質

物理的状態、形状	: 白色粉末
臭い	: データなし
pH	: データなし
融点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: データなし
爆発範囲の上限・下限	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
密度（比重）	: データなし
溶解性	: 水に可溶
粘度	: データなし
その他のデータ	: データなし

10. 安定性および反応性

安定性	: 通常の保管や一般的な使用条件では安定。
危険有害反応可能性	: 情報なし
避けるべき条件	: 情報なし
混触危険物質	: 情報なし
危険有害な分解生成物	: 情報なし
その他	: 情報なし

11. 有害性情報

急性毒性

経口	: ラット LD50 1,000mg/kg (リン酸塩)
	: マウス LD50 5,989mg/kg (硫酸塩混合物)

経皮	: ウサギ LD50 >300mg/kg (リン酸塩)
----	-----------------------------

皮膚腐食性／刺激性

: ヒトで、中等度から軽度の皮膚刺激が見られ、ウサギで強度の刺激性が報告されている。(ACGIH,7th、2001) (リン酸塩)

眼に対する重篤な損傷性／刺激性

: ヒトで、中等度から軽度の眼刺激性が認められ、またウサギで強度の眼刺激性が報告されている。(HSDB、2005) (ACGIH,7th、2001) (リン酸塩)

呼吸器感作性 : データなし

皮膚感作性 : モルモットを用いた皮膚感作性試験結果、皮膚感作性がある。(硫酸塩混合物)

生殖細胞変異原性

: データなし

発がん性 : データなし

生殖毒性 : データなし

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

: ヒトで、咳および鼻と咽頭の刺激が見られる。(ICSC(J)、1997)

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

: ヒトで、神経系への影響があり、ばく露基準が定められている。(ACGIH,7th、2001) (リン酸塩)

1 2. 環境影響情報

生態毒性 : 魚類 (ブルーギル) 96 時間 LC50=6.5mg/L (硫酸塩混合物)

甲殻類 (オミジノコ) 48 時間 LC50=391,000 μg/L (AQUIRE、2003)
(リン酸塩)

残留性/分解性 : データなし

生態蓄積性 : データなし

土壌中の移動性 : データなし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 廃棄においては、関係法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
廃棄の前に可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って
危険有害性のレベルを低い状態にする。都道府県知事などの許可を
受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理する。

容器 : 容器は洗浄して関係法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な
処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去するこ
と。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報 : 規制には該当しない。

航空規制情報 : 規制には該当しない。

国連番号 : 該当しない

国連分類 : 該当しない

国内規制

陸上規制情報 : 規制には該当しない。

海上規制情報 : 規制には該当しない。

航空規制情報 : 規制には該当しない。

輸送の特定の安全対策及び条件

: 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのない
ように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

労働安全衛生法	: 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9）
消防法	: 非該当
毒物劇物取締法	: 非該当
船舶安全法	: 非該当
航空法	: 非該当
化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法）	: 第 1 種指定化学物質
海洋汚染防止法	: 非該当

16. その他の情報

本製品安全データシート（SDS）は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂される事があります。また、SDS 中の注意事項は通常の取扱を対象にした物です。製品使用者が特殊な取扱をされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。また、当社は、SDS 記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証する物ではありません。

※危険、有害性の評価は必ずしも十分でありませんので、取り扱いには十分注意をお願い致します。

参考文献

化学大辞典	共立出版株式会社
化学品法令集	化学工業日報社
安全衛生情報センター	http://www.jaish.gr.jp/
製品評価技術基盤機構	https://www.nite.go.jp/chem/ghs/ghs_index.html
16112 の化学商品	化学工業日報社（2012）
化学品の分類および表示に関する世界調和システム（GHS）	
原材料製造メーカーSDS	
